

令和2年度当初予算案のポイント

教育委員会

1 幼・保・小・中・高の一貫した「学びの改革」を推進

- (1) 幼児教育支援センター運営事業 R2 当初：5,746 千円 (R1 当初：4,717 千円)
新たに幼保小接続カリキュラムの実践研究に4市町村と協働で取り組むとともに、実践園7園でのフィールドワーク研修を実施
- (2) 「学びの改革」実践校応援事業 R2 当初：3,239 千円 (R1 当初：一千円)
新たに学校改革に挑む小中学校25校を「学びの改革」実践校として指定し、学年担任制の導入等の取組をアドバイザーの派遣等により支援
- (3) 県立高校「未来の学校」構築事業 R2 当初：5,564 千円 (R1 当初：1,734 千円)
「未来の学校」実践校6校を指定し、「卓越した探究的な学び」等をテーマに研究開発計画に基づく実践研究を開始
- (4) ICT環境の整備 R2 当初：571,716 千円 (R1 当初：474,299 千円)
全県立高校への電子黒板整備を完了させるとともに、タブレット端末整備を加速化

2 すべての子どもの「学び」を保障

- (1) 特別支援学校改革事業 R2 当初：56,898 千円 (R1 当初：43,986 千円)
自立活動教諭の増員(25名)による各校の専門性向上チームの強化や副学籍コーディネーター配置校の増(2校→4校)により、特別支援学校改革を推進
- (2) 県立高校における長期入院生徒への学習支援事業 R2 当初：5,099 千円 (R1 当初：一千円)
長期入院中の生徒への学習支援を行うため、新たにICTを用いた遠隔教育を導入するとともに、コーディネーター・学習支援員を配置
- (3) いじめ・不登校等対策 R2 当初：284,458 千円 (R1 当初：266,969 千円)
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる支援体制を強化するとともに、新たに児童生徒の実態調査(小中各1校)を基に、環境要因を改善する取組を試行実施
- (4) 子どもの自殺対策推進事業 R2 当初：10,039 千円 (R1 当初：1,448 千円)
県立高校13校・特別支援学校12校において、自殺予防のためのワークショップを実施するとともに、新たに学校内での支援体制構築に向けた教員養成を開始

3 2027年長野国体に向けたスポーツの振興

- (1) 第82回国体に向けた競技力向上事業 R2 当初：220,000 千円 (R1 当初：200,000 千円)
各競技団体の選手強化の取組に対する支援を拡充
- (2) 県立武道館運営事業 R2 当初：86,972 千円 (R1 当初：一千円)
3月開館予定の県立武道館の運営を委託し、県立武道館を拠点に武道振興の取組を開始
- (3) 全国高等学校総合体育大会開催事業 R2 当初：40,428 千円 (R1 当初：一千円)
高校生が競い合う全国高等学校総合体育大会(インターハイ)を本県で開催